

荒川水系（東京都）の減災に係る取組 令和元年度取組状況

荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会(第6回)

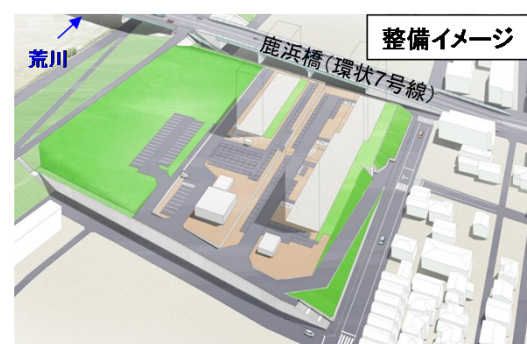
取組方針の主な実施状況（令和元年度）

○重要インフラの機能確保

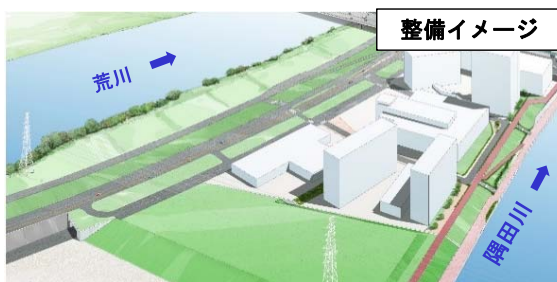
- 管内4カ所で高規格堤防の整備に伴う地盤改良、補償、設計を実施（荒川下流河川事務所）



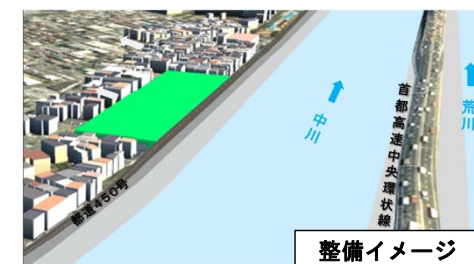
川口市 川口地区



足立区 新田一丁目地区



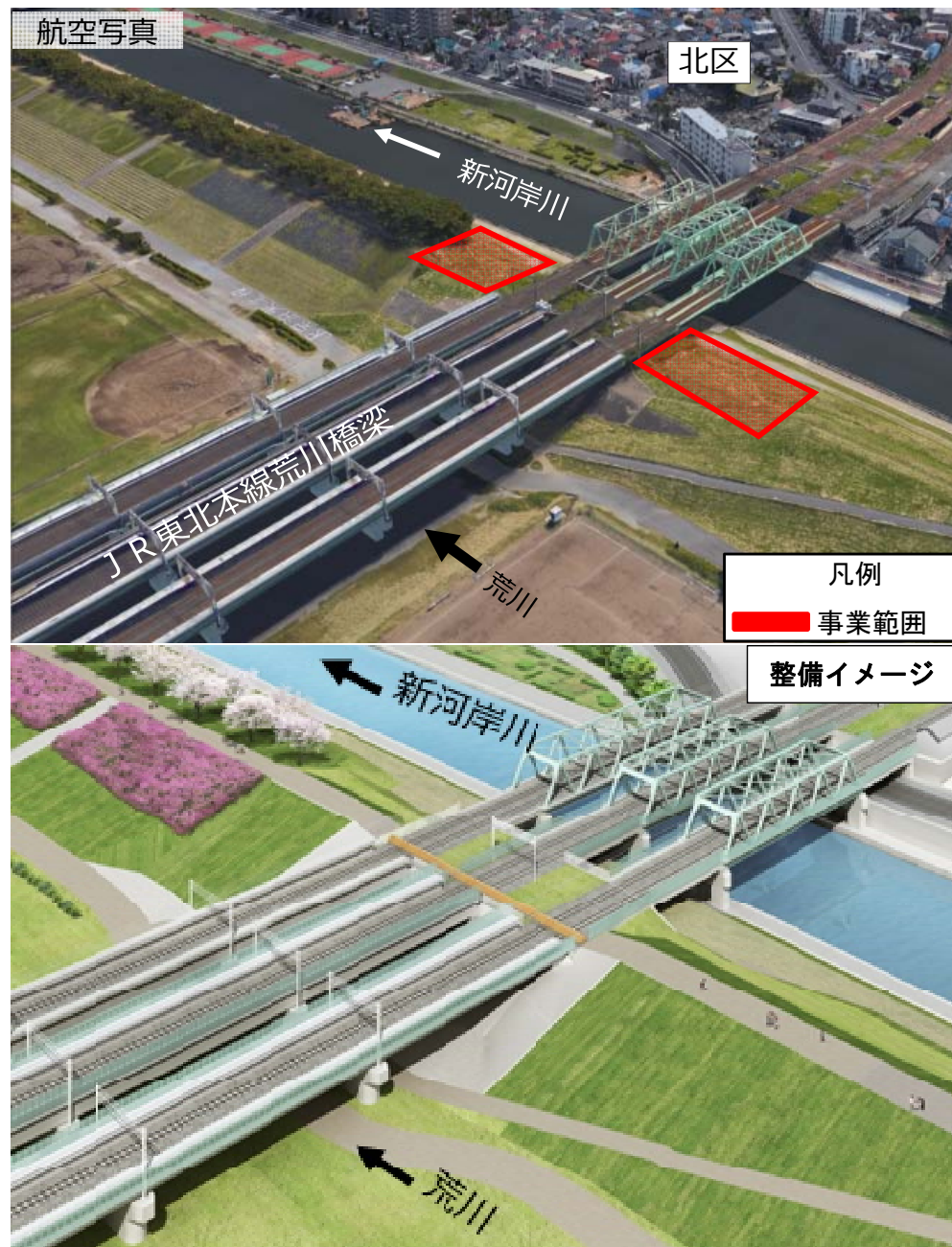
足立区 小台一丁目地区(Ⅱ期工区)



葛飾区 西新小岩地区

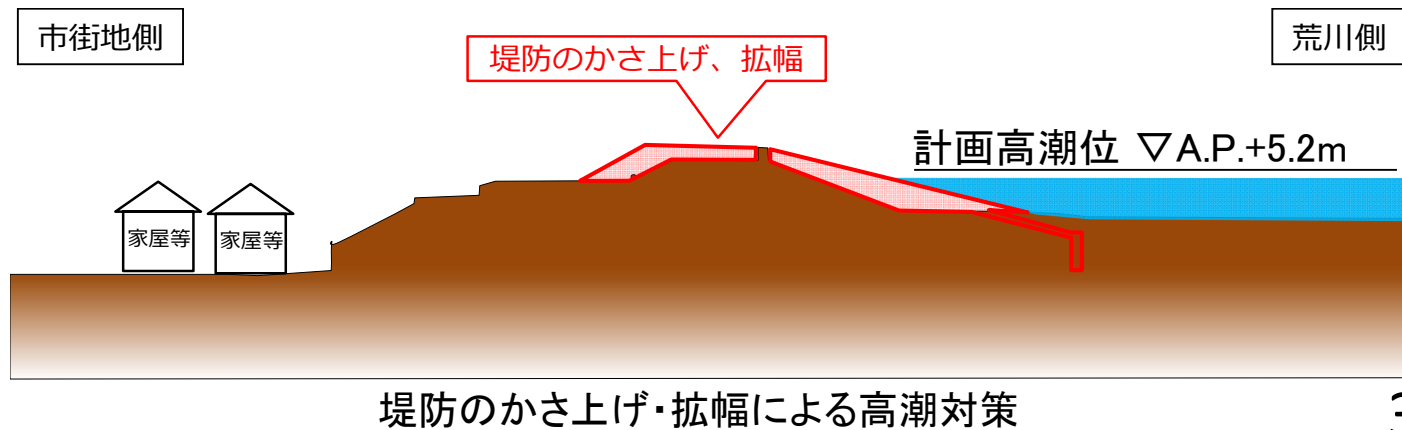
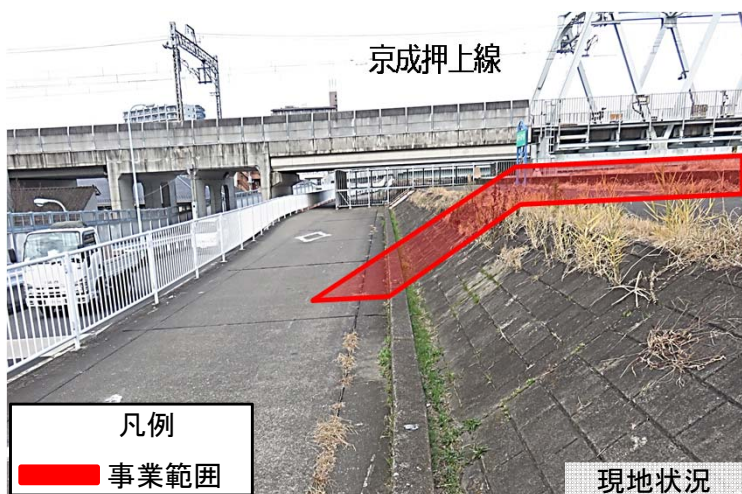
○優先的に実施する堤防整備（橋梁部周辺対策）

- ・ JR東北線荒川橋梁において橋梁部周辺対策に伴う地盤改良を実施（荒川下流河川事務所）



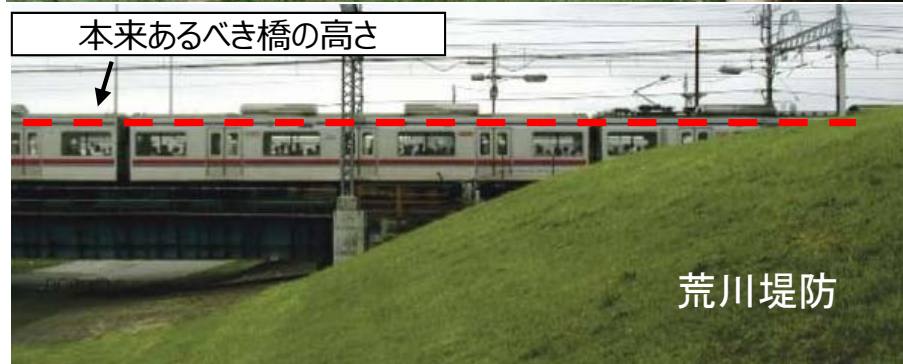
○堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）

- 堤防のかさ上げ・拡幅を実施し、高潮堤防として必要な堤防断面を確保（荒川下流河川事務所）



○橋梁対策等の実施

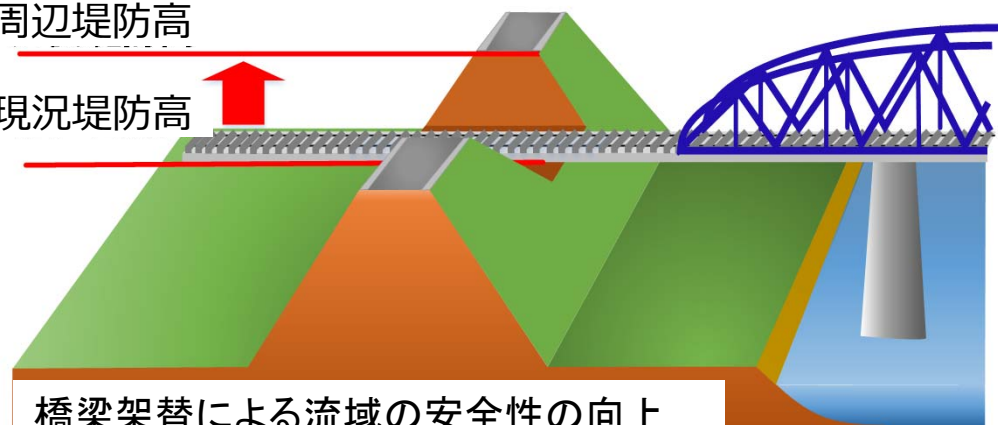
- 京成本線橋梁架替事業において用地測量を実施、用地買収に着手(荒川下流河川事務所)



高さ不足のイメージ

周辺堤防高

現況堤防高



橋梁架替による流域の安全性の向上

○本川と支川の合流部等の対策

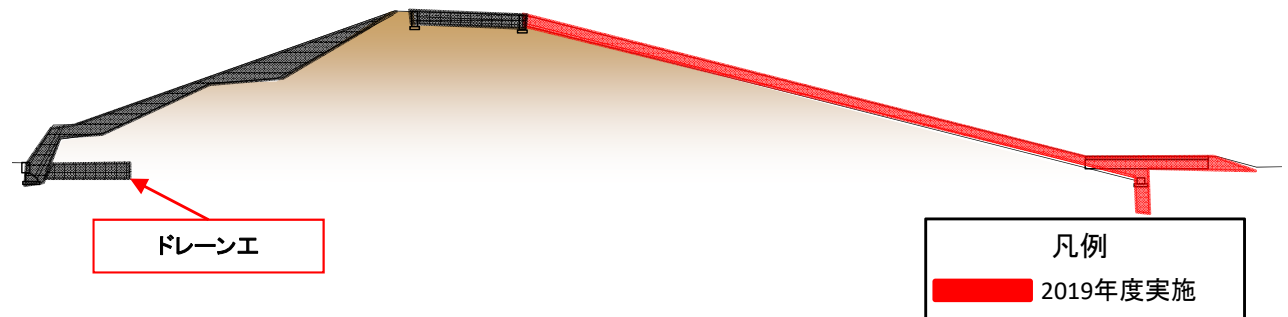
- ・ 笹目橋下流の堤防強化対策を実施(荒川下流河川事務所)



整備イメージ



断面図



堤防の緩斜面化、断面拡幅等の堤防強化対策

○多数の家屋や重要施設等の保全対策

- 管内各所の高水敷の樹木伐採を実施(荒川下流河川事務所)



埼玉県戸田市戸田公園付近



東京都足立区千住桜木付近

○円滑かつ迅速な避難に資する施設（避難先、防災行政無線等）を整備

- 屋内設置型の防災行政無線放送設備の普及を促進（港区）
- 防災無線の調整を随時実施（文京区、荒川区、板橋区）
- 防災行政無線のデジタル化工事の実施（台東区、墨田区、江東区、北区、足立区、江戸川区）
- 自治町会と民間集合住宅との間で一時避難に関する協定を締結できるようにガイドラインを作成し、継続して支援を実施（葛飾区）



区民、施設用(館内放送なし)



施設用(館内放送あり)

屋内設置型の防災行政無線（港区）



固定系無線システムのデジタル化（墨田区）

○洪水予測や水位情報の提供の強化

- 上流から下流まで連続して洪水危険度を把握できるよう水位の実況値や予測値をわかりやすく情報提供する『水害リスクライン』を開発、配信(関東地方整備局)



現行の洪水予報・危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、
一連区間の危険度を表示

水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示

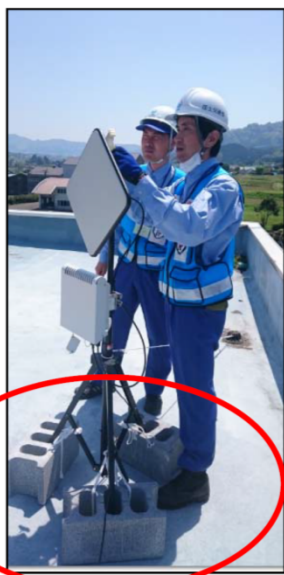


○ 庁舎等の防災拠点の強化

- ・ 拠点間の通信を確保する可搬型の無線設備(i-RAS)を整備(荒川下流河川事務所)



アンテナ高さを確保するためCCTV支柱へ設置



標準の三脚をブロックで固定



テレメータ局舎上部へ設置



可搬型の無線設備(i-RAS)の整備

○ ICTを活用した洪水情報の提供

- SNSにより、タイムライン運用状況や洪水・気象情報等の提供を実施（荒川下流河川事務所）
- 台風接近に伴う注意喚起をSNS（防災行政無線と連動）で実施（墨田区）



【荒川下流タイムライン】#台風第19号の接近に伴い、令和元年10月7日10時30分より、荒川下流タイムラインの適用を開始しました。10月7日10時30分現在の状況は、「レベル1－1」です。今後の台風情報等にご注意ください。#荒川 #タイムライン

午前11:24 · 2019年10月7日

60 リツイート 63 いいね



国土交通省 荒川下流河川事務所
@mlit_arakawa_ka

今後、管内において#台風19号の影響による水位上昇が見込まれないため、#タイムラインの適用を終了します。終了時の状況は『レベル3』でした。#荒川

午後5:27 · 2019年10月14日 · Twitter Web Client

165 リツイート 354 いいねの数



墨田区役所
@sumidaku_kouhou

こちらは墨田区役所です。台風19号の風雨に関する警戒レベル3、避難準備を発令しました。避難の準備を整えて、気象情報に注意して、危険だと判断したら早めに避難してください。避難場所への避難が困難な場合は、ご自宅にて安全確保を図ってください。

午後0:55 · 2019年10月12日 · City Sumida Bosai info

432 リツイート 375 いいねの数



区公式ツイッターによる注意喚起（墨田区）

ツイッターによる情報発信
（荒川下流河川事務所）

○浸水特性を考慮した避難計画の策定

- 「令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ」を設置し、排水強化・垂直避難の活用等の検討を実施(内閣府)
- 台風第19号の対応を踏まえ「文京区水害・土砂災害対策実施要領」修正に向けた検討を実施(文京区)

中央防災会議 防災対策実行会議 令和元年台風第19号等による災害からの 避難に関するワーキンググループ

○趣旨

東北、関東甲信越を中心に広域かつ甚大な被害をもたらした令和元年台風第19号等を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置。

○論点

- 災害リスクととるべき行動の理解促進
- 高齢者等の避難の実効性の確保
- わかりやすい防災情報の提供（避難勧告・避難指示のあり方）等

※関係省庁の取組と連携し検討を実施

○スケジュール

年 内 ワーキンググループ立ち上げ
年度内 とりまとめ

※ 制度改正につながるものは
引き続き検討し、
早期に結論を得る

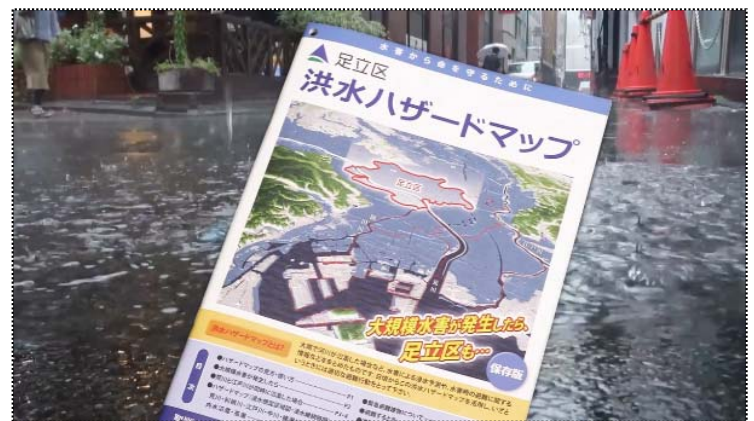
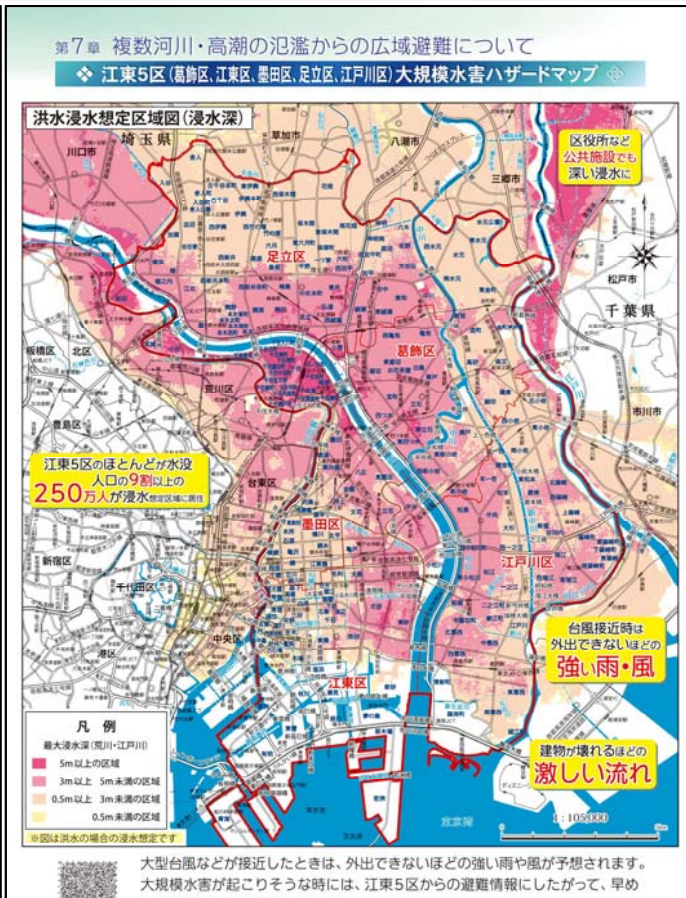
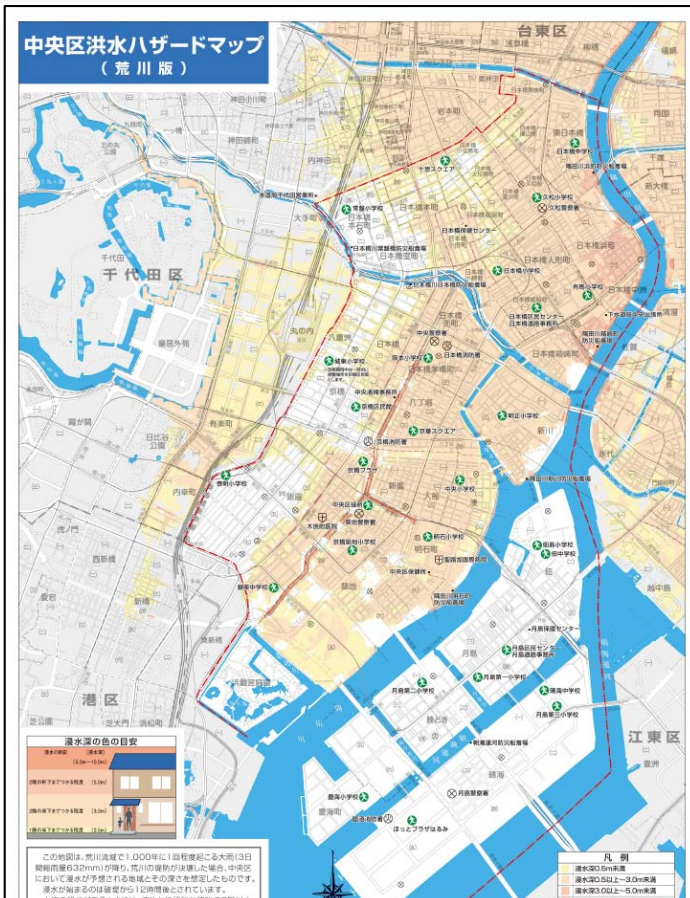


第1回ワーキンググループ開催状況(内閣府)

ワーキンググループ設置の趣旨(内閣府)

○ハザードマップの改定、周知、活用

- 想定最大規模降雨のハザードマップを作成し、配布(千代田区、中央区、文京区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区)
- ハザードマップを要配慮者施設や地下街等に配布(千代田区)
- ハザードマップの多言語化(英、中、韓)を実施(北区)
- ハザードマップの解説映像を制作、動画サイト等で公開(足立区)
- 防災訓練や講話にてハザードマップを活用し、水害へのリスク等を周知(墨田区)



ハザードマップ解説動画(足立区)

想定最大規模降雨のハザードマップ(左:中央区、右:葛飾区)

○ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実

- ・ 想定最大規模降雨の浸水想定区域図等を作成・公表し国に情報提供(東京都)
- ・ ハザードマップをハザードマップポータルサイトにおいて公開(各区)

わがまちハザードマップ ~地域のハザードマップを入手する~ ホーム

ホーム > わがまちハザードマップ “だれでも”“どこからでも”日本中のハザードマップを“まるごと”閲覧

地図から選択する | 災害種別から選択する

日本地図 > 東京都

東京都港区

洪水ハザードマップ
インターネットで公開している» 公開URL
を開く

内水ハザードマップ
インターネットで公開している» 公開URL
を開く

ため池ハザードマップ
-

高潮ハザードマップ
-

津波ハザードマップ
インターネットで公開している» 公開URL
を開く

土砂災害ハザードマップ
インターネットで公開している» 公開URL
を開く

火山ハザードマップ
-

地震防災・危険度マップ情報
» 地震防災・危険度マップ情報を表示

地域選択

地方選択	▼
都道府県選択	東京都 ▼
奥多摩町	連絡先一覧 ^
青梅市	連絡先一覧
足立区	連絡先一覧
清瀬市	連絡先一覧
板橋区	連絡先一覧
北区	連絡先一覧
葛飾区	連絡先一覧
日の出町	連絡先一覧
東村山市	連絡先一覧
羽村市	連絡先一覧
練馬区	連絡先一覧
檜原村	連絡先一覧
あきる野市	連絡先一覧
武蔵村山市	連絡先一覧
東久留米市	連絡先一覧
東大和市	連絡先一覧
西東京市	連絡先一覧
荒川区	連絡先一覧
福生市	連絡先一覧
小平市	連絡先一覧 ▼

リンク先のハザードマップ等の著作権は作成機関（各市町村等）に帰属します。複製・使用の承認については、各作成機関にお問い合わせください。
Copyright ©2010 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan. All Rights Reserved.

わがまちハザードマップ（各区）

13

○災害リスクの現地表示

- 区有施設など、住民の目に留まりやすい場所に想定浸水深を掲示(千代田区)
- 想定浸水深等の掲載について、民間事業者と協定を締結。また、電柱共架の広告に海拔表示を掲示(墨田区)
- 街路灯や電柱へ浸水深シールの掲示を行い、住民へ周知(荒川区)
- 主要道路沿いのロケット型消火器格納箱に海拔表示ステッカーを貼付(足立区)



想定浸水深を掲示(千代田区、荒川区)



海拔表示を掲示(墨田区、足立区)

○要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

- 避難確保計画作成講習会を実施(荒川下流河川事務所、荒川区、板橋区、江戸川区)
- 避難確保計画作成を支援するDVD及び手引きを作成(荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会)
- 要配慮者利用施設への洪水予報伝達演習を実施(中央区)
- 避難確保計画作成の手引き及び雛形を作成(荒川区、江戸川区)
- 新たに要配慮者利用施設を位置づけ(江戸川区)



避難確保計画作成講習会
(板橋区)

(施設名) _____ (____年 ____月 ____日作成)

水害時の避難確保計画

通所施設 様式1

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づいたものであり、本施設の利用者の水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。
計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を江戸川区長へ報告する。
この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。
【利用者(平日) ____人、(休日) ____人 / 施設職員(平日) ____人、(休日) ____人】

1. 大規模水害(洪水・高潮)を想定した対応

大規模水害 (施設) _____ 階

何階まで浸水するか _____ 階 どのくらい浸水が続くか _____

区外への伝達連絡が迅速に行われるよう、下記の判断 (状況・時間) を把握しよう！

休校・休所の判断のタイミング

(1) 江戸川区からの情報により判断

- 共同対策開始 災害発生72時間前
- 自主的広域避難情報(広域避難の呼びかけ) 災害発生48時間前
- 広域避難勧告 災害発生24時間前
- 域内重点避難指示(緊急) 災害発生9時間前

(2) そのほかの気象情報・避難情報により判断

.....

2. 内水氾濫を想定した対応

内水氾濫 (施設) _____ 階 地下空間 _____

何mまで浸水するか _____ m

対策として対応を要する！

※内水氾濫時の浸水避難時間(どのくらい浸水が続くか)については、避難開始～避難完了までの時間による恐れがあります。

対応 施設内で安全を確保する 対応 施設外へ避難をする

「いつ」対応するか _____ 何1階以上の階で1階が浸水して1階以上

「どこに」避難するか _____

※施設内で安全を確保する場合は施設内での避難経路を、施設外へ避難する場合は施設から避難先までの避難経路を、「通所施設様式3:避難経路図」に記入しましょう。

様式2

4 防災体制 (→ 手引きP4～P7)
連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	体制	活動内容	対応委員
以下のいずれかに該当する場合 ●大雨・洪水・高潮注意報発表	注意体制確立	○気象情報・洪水予報等の情報収集 ○情報収集伝達委員	情報収集伝達委員
以下のいずれかに該当する場合 ●大雨・洪水・高潮警報発表 ●水防団待機水位到達 ●荒川氾濫注意情報発表 ●避難準備・高齢者等避難開始の発令	警戒体制確立	○気象情報・洪水予報等の情報収集 ○使用する資器材の準備 ○保護者(利用者の家族)等への事前連絡 ○要配慮者の避難誘導	情報収集伝達委員 避難誘導委員 情報収集伝達委員 避難誘導委員
以下のいずれかに該当する場合 ●荒川氾濫警戒情報発表 ●大雨・高潮特別警報 ●避難勧告又は避難指示(緊急)の発令	非常体制確立	○施設内全体の避難誘導	避難誘導委員



DVD



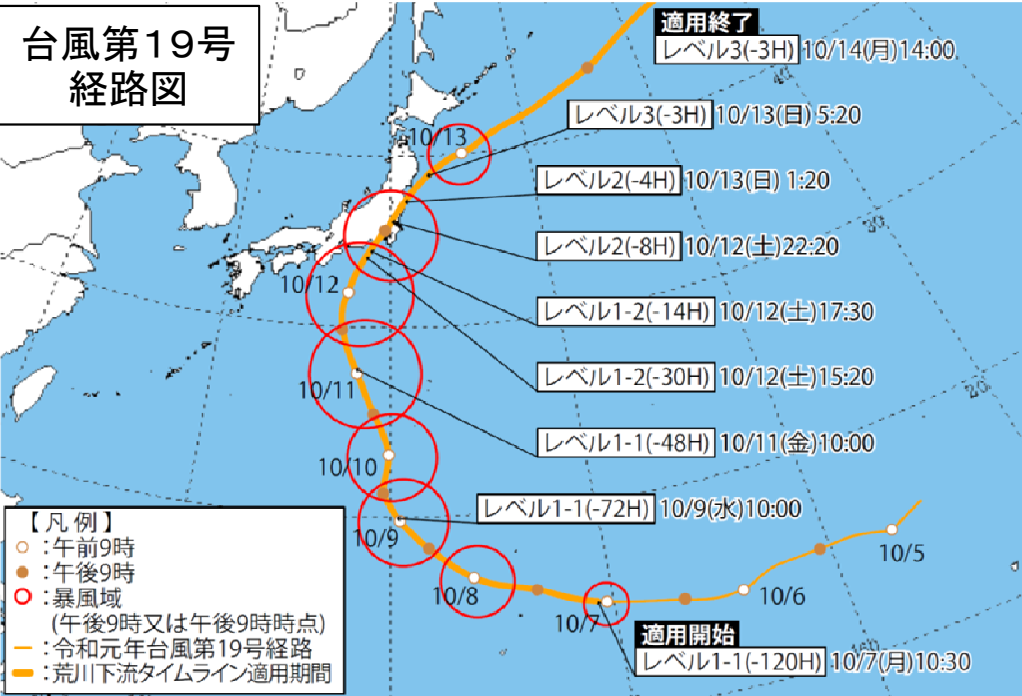
避難確保計画の雛形(荒川区、江戸川区)

避難確保計画作成支援DVDを作成
(荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会)

○多機関連携型タイムラインの拡充（荒川下流タイムラインの策定・運用）

- 荒川下流タイムライン(拡大試行版)を運用し、専門部会において見直しを実施(全機関)

台風名	荒川下流タイムライン適用期間(適用日数)		適用終了時のTLレベル(参考)
第3号	6月27日(木)～ 6月28日(金)	(2日間)	1-1(-48H)
第6号	7月26日(金)～ 7月28日(日)	(3日間)	1-1(-48H)
第10号	8月 7日(水)～ 8月16日(金)	(10日間)	1-1(-96H)
第15号	9月 6日(金)～ 9月 9日(月)	(4日間)	1-1(-48H)
第19号	10月 7日(月)～10月14日(月)	(8日間)	3(-3H)
第20・21号	10月19日(土)～10月26日(土)	(□8日間)	1-1(-96H)



荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況

荒川下流タイムライン(拡大試行版)【2019年版】	
荒川下流タイムライン(拡大試行版)について	p1
荒川下流タイムライン(拡大試行版)【2019年版】	p2
【別紙】荒川下流タイムライン(拡大試行版)	p25
【参考1】荒川下流タイムライン(拡大試行版)が想定する気象情報・水位・雨量等	p26
【参考2】荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用について	p27
【参考3】荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会名簿	p28

令和元年 5月	
荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)専門部会	
1	荒川下流タイムライン(拡大試行版)について
2	荒川下流タイムライン(拡大試行版)【2019年版】
3	【別紙】荒川下流タイムライン(拡大試行版)
4	【参考1】荒川下流タイムライン(拡大試行版)が想定する気象情報・水位・雨量等
5	【参考2】荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用について
6	【参考3】荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会名簿
7	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
8	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
9	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
10	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
11	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
12	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
13	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
14	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
15	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
16	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
17	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
18	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
19	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
20	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
21	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
22	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
23	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
24	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
25	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
26	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
27	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
28	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
29	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
30	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
31	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
32	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
33	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
34	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
35	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
36	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
37	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
38	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
39	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
40	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
41	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
42	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
43	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
44	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
45	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
46	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
47	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
48	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
49	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
50	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
51	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
52	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
53	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
54	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
55	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
56	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
57	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
58	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
59	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
60	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
61	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
62	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
63	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
64	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
65	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
66	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
67	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
68	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
69	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
70	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
71	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
72	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
73	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
74	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
75	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
76	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
77	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
78	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
79	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
80	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
81	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
82	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
83	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
84	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
85	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
86	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
87	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
88	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
89	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
90	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
91	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
92	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
93	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
94	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
95	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
96	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
97	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
98	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
99	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況
100	荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用状況

○実践的な訓練の実施

- 報道機関の水害対応訓練を支援(荒川下流河川事務所)
- 洪水対応演習(防災操作、ダム放流情報発信、関係機関への伝達・連絡等訓練)等を実施(水資源機構)
- 洪水予報伝達演習を実施(全機関)
- 台風を想定した訓練を実施(墨田区)
- 水防訓練にタイムラインを導入(北区)



台風を想定した職員災害対応訓練
の実施(墨田区)



水防訓練の実施状況(北区)



報道機関の水害対応訓練を支援
(荒川下流河川事務所)

○気象情報の改善（水害時の情報の入手のしやすさをサポート）を実施

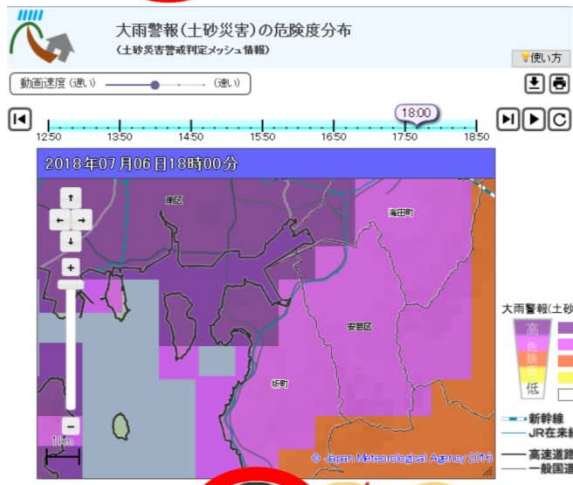
- 「危険度分布」に洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等のリスク情報を重ね合わせて表示できるよう改善（気象庁）



洪水浸水
想定区域を
重ね合わせ



ボタンで切替



土砂災害
警戒区域等を
重ね合わせ



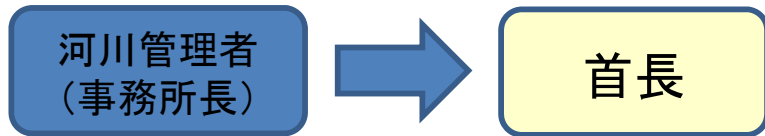
ボタンで切替

「危険度分布」とリスク情報を
重ね合わせて表示（気象庁） 18

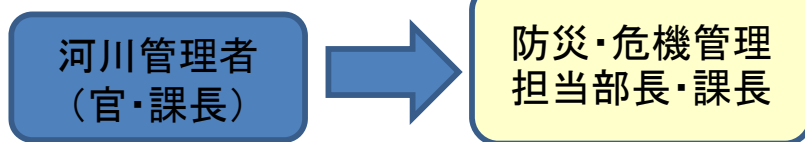
○洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）

- ・ 台風第19号においてホットラインによる情報伝達を実施（荒川下流河川事務所）
- ・ 事務所長と首長が情報交換を行うホットラインに加え、官・課長級と自治体の防災・危機管理担当部長・課長級が情報交換を行う第2ホットラインを構築（荒川下流河川事務所）

○ホットライン

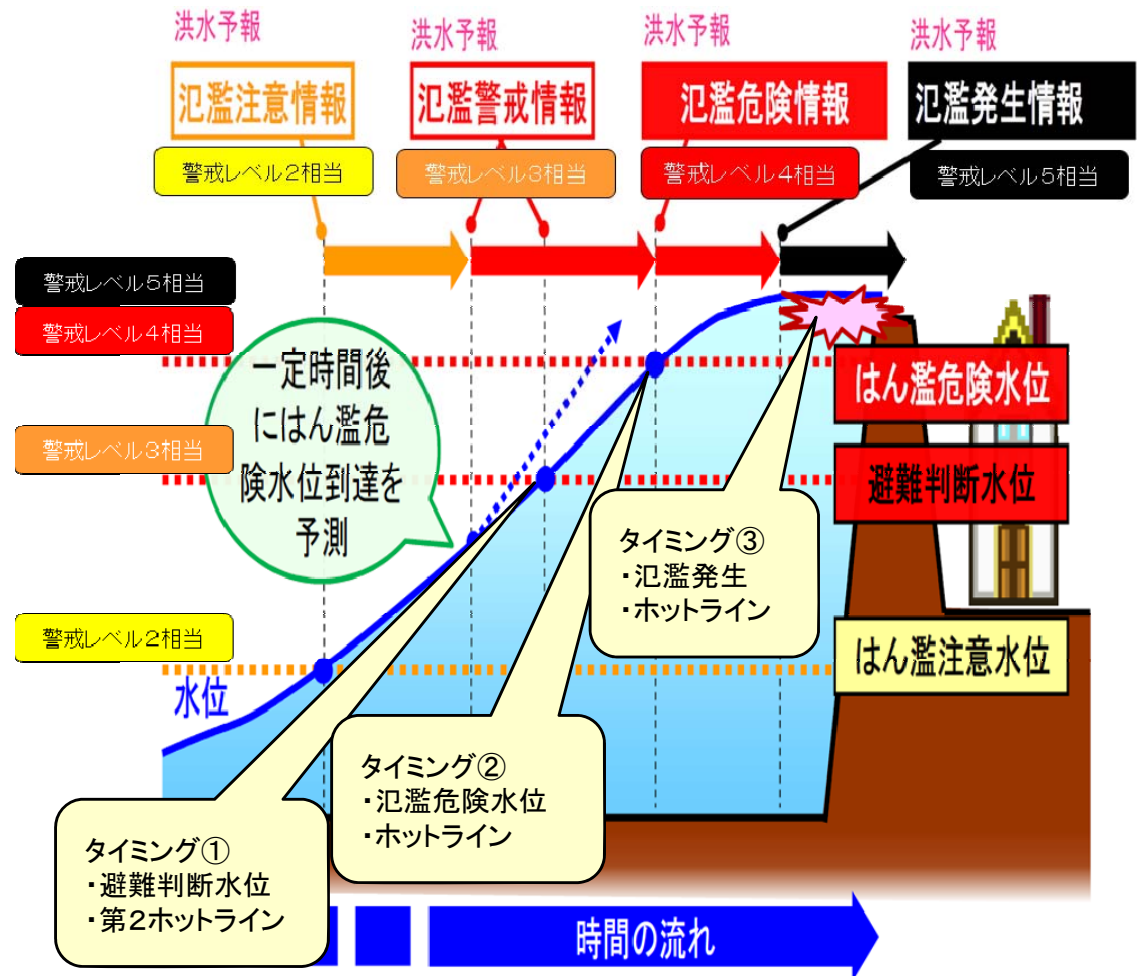


○第2ホットライン



ホットラインによる情報伝達を実施（台風第19号）

ホットラインのイメージ



○水害時の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置

- ・ 水害時に必要な事前準備について、区ホームページや水害ハザードマップで周知(文京区)
- ・ 窓口を設置済み(荒川下流河川事務所、気象庁、各区)

● 日頃からの水害対策

ご自宅周りの確認事項

台風や豪雨の到来は予測できるからと安易に考えてはいけません。
大雨や強風は私たちに何度も大きな災害をもたらしています。
油断せず日頃から十分な対策を立てておきましょう。

ベランダ

鉢植えや物干し竿など
飛ばされる危険がある物は室内へ。

窓ガラス

ひび割れ、窓枠の
ガタツキはないか。

外壁

壁に亀裂はないか。

側溝・雨水ます

ごみ・土砂や落葉をとり除き、
ふみ板等を置かないで排水を
よくしておく。

地下駐車場

土のう、止水板を
準備しておく。

日頃からの備え

日頃から次のことを行ってください

●安全な避難路の確認

避難所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

●非常持ち出し品の事前準備を

ラジオ、懐中電灯、食料、飲料水などは事前に用意しておきましょう。

被害が心配されるときには

●正確な情報収集を

ラジオ・テレビ・インターネット・文の京安心防災メール等からの水防情報、気象情報に十分注意しましょう。

●家財道具を移動

浸水などのおそれがあるところでは、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動します。

●高齢者などの避難

高齢者や乳幼児、病人などを安全な場所へ避難させましょう。

●地下施設への浸水にも注意

豪雨時の地下室利用は危険です。地下駐車場にも注意しましょう。

地下施設への浸水に備える

日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。また、あらかじめ土のうを用意したい方には貸与します。
なお、区内各所に土のう置場を設置していますので、緊急の場合はご自由にご利用ください。

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/bosai/doro/jigyo/shinsui.html>

問合せ先 土木部道路課 ☎03-5803-1250



○（小中学校を含む）防災教育の促進

- ・ 関係機関合同の防災教育を実施（荒川下流河川事務所、気象庁、東京都、北区）
- ・ ダム見学之机会を活用し、防災の啓発活動を実施（水資源機構）
- ・ 小・中学校において水害対策について説明（墨田区）
- ・ モデル校にて大規模水害についての防災学習を実施（江戸川区）



自然災害体験車による防災教育
（荒川下流河川事務所、気象庁、東京都、北区）



大規模水害に関する防災学習（江戸川区）

○教員を対象とした講習会の実施

- 教育委員会防災安全教育研修会を実施(荒川下流河川事務所、北区)
- 教員を含めた講習会や台風第19号についての意見交換会を実施(足立区)



北区教育委員会防災安全教育研修会(荒川下流河川事務所、北区)

○出前講座等を活用した講習会の実施

- 出前講座を実施（荒川下流河川事務所、水資源機構、千代田区、台東区、江東区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区）
- 防災知識の普及啓発活動等に係る支援を実施（気象庁）
- 地域防災活動拠点会議や地域の防災訓練において、水害対策について説明を実施（墨田区）
- 江戸川区水害ハザードマップの説明会を6地区で開催（江戸川区）



水防団に対する荒川の水害リスクと対策に関する講習会（荒川下流河川事務所）

○効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料作成の実施

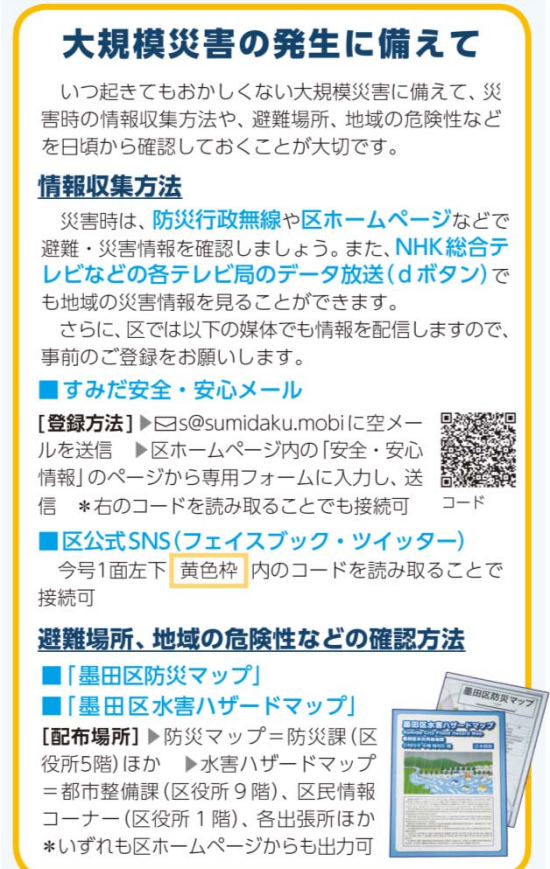
- ・ 防災イベント等を通じて、防災気象情報の理解、活用に係る普及啓発を実施(気象庁)
- ・ チラシ「防災気象情報の伝え方が変わります～危険度分布のうす紫は警戒レベル4相当！自ら避難の判断を！～」を新規発行(気象庁)
- ・ 区ホームページや広報誌等を通じて、水防災についての情報発信を実施(墨田区、北区、荒川区)
- ・ 区広報番組(えどがわ区民ニュース)において、大規模水害時における広域避難の必要性を啓発するための特集を作成(江戸川区)



広域避難の必要性啓発のための特集
(令和元年5月20日)(江戸川区)



水防災についての情報の発信
(令和元年5月21日)(荒川区)



災害時の情報収集方法の解説
(令和元年12月21日)(墨田区) 24

- ・ 台風第19号の際に関東地方整備局と共同で記者会見を実施(気象庁)
- ・ 防災イベントやホームページを通じて、防災気象情報の理解、活用に係る普及啓発を実施(気象庁)
- ・ 防災講演会や訓練、広報誌等において、河川情報の確認方法を紹介(文京区、江戸川区)

河川情報の確認方法を解説
(令和元年6月25日)(文京区)

河川情報の確認方法を解説
(令和元年12月20日)(江戸川区)

○風水害の体験型訓練の実施

- 小・中学生、地域住民を対象に降雨体験車による体験型訓練を実施(荒川下流河川事務所)
- 「ダム防災操作研修」を実施し、ダム防災操作シミュレータの実技訓練等を実施(水資源機構)
- 総合防災訓練において、VR・ARを活用した水害についての啓発活動を実施(墨田区)

「ダム操作訓練シミュレータ」は、異常洪水に対して的確な対応が求められる現代のダム技術者の技術向上に応えます。

- ◆ 近年、線状降水帯による異常洪水や非洪水期における大型台風襲来が頻発化しており、過去に経験のない事象に直面する可能性が高まっています。
- ◆ ダム管理の現場においても、このような事象に対して、**ダムの洪水調節機能を最大限発揮するよう社会的な要請**が、より一層高まっています。
- ◆ 水資源機構が開発した「ダム操作訓練シミュレータ」は、基本操作に留まらず、様々な降雨状況に対して下流水位を把握しながら応用的な操作を実践しながらに訓練できる、**現代のダム技術者のあらゆるニーズに応えた訓練ツール**です（我が国初の10項目の機能を標準装備）。

【令和元年10月台風19号時の下久保ダムの防災操作】

シミュレータ メイン画面

ノートPC単体でも出来るようメイン画面に集約

開発で実装した機能

項目	新規性
1. ダム管理用制御盤の再現	従来通り
2. 計算処理機能(流入・流出・河川等)	下流河川は 初
3. 警告アラート機能(水位・操作規則違反等)	下流河川は 初
4. データインポート機能(予測モデルとの連携)	予測モデルとの連携は 初
5. データ出力機能(操作記録の再生)	操作記録の再生は 初
6. 指導者モード(教育計画立案と情報共有)	初
7. 多人数同時参加機能	業務用PCでは 初
8. リアルな出水対応の再現(予測雨量の変化)	予測雨量は 初
9. 防災操作のやり直し機能	初
10. ダムの機能を最大限活用する洪水訓練	初

ダム及び下流河川の状況全体を把握

ダム管理のフロンティア(独)水資源機構が開発・推薦する訓練ツールです。

ダム操作訓練シミュレータPR資料(水資源機構)



降雨体験車による体験型訓練(荒川下流河川事務所)

○職員の出水時の知識・経験の継承

- ・ 水防訓練を実施し、水防に関する知識や各機関の連携を確認(千代田区、中央区、港区、荒川区、江戸川区)
- ・ 関係部署間で排水ポンプの整備を兼ねた使用方法説明会を実施(江東区)
- ・ 職員対象の業務発表会にてハザードマップを題材とした発表を実施(江東区)
- ・ マニュアル・メモを作成し知識を継承(荒川下流河川事務所、台東区、板橋区、葛飾区)
- ・ 出水時の緊急対応行動や必要知識習得のため職員研修を行っている(足立区)



水防訓練において水防工法を実施(江戸川区)



排水ポンプ訓練の実施(江東区)

第1章 ハザードマップとは

自然災害による被害の軽減や
防災対策に使用する目的で、
被災想定区域や
避難場所・避難経路
などを表示した地図

(国土交通省HP『ハザードマップ』より抜粋)

第1章 ハザードマップとは

▶ 様々なハザードマップがある

火口や周辺地帯の情報など
地盤高や地盤の軟弱な情報など
火山土地条件図
土地条件図
沿岸海域土地条件図
都市圏浸透範囲図
水害や海害の地形情報など
活断層の位置情報など

ハザードマップ作成

事前の災害対策
防災訓練

■洪水に備える「洪水ハザードマップ」
■大規模火災に備える「大規模火災マップ」
■地震災害に備える「地震防災マップ」
■気候化災害に備える「気候化被害想定図」
■津波・高潮に備える「津波災害予測図」

(国土交通省HP『ハザードマップ』より)

第1章 ハザードマップとは

水防法

第14条
国都道府県が浸水想定区域図
(どこで、どれだけ浸水するか)を作成

↓

第15条
市町村が『水害リスク』と『水害時の避難』に
関する情報を追加して、**ハザードマップ**を作成

第1章 ハザードマップとは

平成30年7月豪雨：平成30年6月28日～7月8日
西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で記録された、
台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨

岡山県倉敷市真備町
洪水の浸水域と浸水想定区域とほぼ一致していた

真備町被害状況(空撮写真)
真備地区の浸水想定区域

職員対象の業務発表会資料(抜粋)(江東区)

○避難訓練への地域住民の参加促進

- ・ 町会長会議等に出向いてハザードマップを周知し、防災意識の普及に努めた(千代田区)
- ・ HPやSNS等のあらゆる媒体を活用して、訓練の情報を提供(墨田区)
- ・ 区報に水防訓練の情報を掲載(荒川区)

墨田区役所 @sumidaku_kouhou

9月29日(日)に錦糸公園で「墨田区総合防災訓練」を開催します。
 防災対策の第一歩は「知ること」です。是非、ご来場ください。詳細は以下URLより
city.sumida.lg.jp/anzen_anshin/b...

防災訓練 SUMIDA BOUSAI CHALLENGE

入場 無料

2019.9.29 (sun) 10:00~15:00 会場: 錦糸公園

お問い合わせ: 墨田区都市計画部危機管理担当 防災課 ☎03-5608-6206

Asahi アサヒグループホールディングス株式会社

都市型水害

集中豪雨等により、排水能力を超えた下水道から水があふれて浸水被害を起こす水害を「都市型水害」といいます。地下街や地下駐車場等の浸水しやすい場所では、早めの上層階へ避難しましょう。

日ごろから都市型水害への備えをすることで、浸水の被害を軽減することが可能です

- ▶ **側溝・雨水ますを塞がないようにしましょう**
 道路の側溝や雨水ますは、日ごろから清掃を心がけて、ブロックや植物のプランター等を置かないようにしましょう。
- ▶ **土のう・水のうを準備しましょう**
 区は、希望者に土のうを配布します。特に大雨が降り続くときは、配布が間に合いませんので、早めにご連絡ください。なお、配布した土のうの回収は行いません。

雨水ます

側溝

車乗り入れブロック

水のうは、ごみ袋を2枚重ねにし、中に水を入れて作ります

水防訓練を実施します

消防署等関係機関と連携し、各種水防工法・救助救出活動等の訓練を実施します。

日時	5月25日 午前9時30分~11時30分
会場	都立汐入公園多目的広場

問合せ: 道路公園課工務係 ☎内線2731

東京都下水道局ホームページで都市型水害の対策が閲覧できます

HP http://www.gesui.metro.tokyo.jp/topics/shinsui_zero/index.html

問合せ: 東京都下水道局北部下水道事務所 荒川出張所 ☎(5615)2891

○共助の仕組みの強化

- 地域包括支援センターにおいて水害をテーマとした講習会を開催(台東区)
- 地区のコミュニティタイムラインづくりを推進(板橋区、足立区)
- 地域ケア会議において高齢者孤立防止策についてのグループ討議を実施(葛飾区)



地域包括支援センターにおける講習会(台東区)

青戸・白鳥地区 地域ケア会議

『地域で高齢者を孤立させないための取り組み』Ⅵ

全国的に異常気象による大型台風の被害が相次いでいますが、昨年の台風19号では葛飾区内でも避難行動された方も多かったと思います。青戸・白鳥地域での避難行動はどんな状況だったのでしょうか。「高齢者の孤立」というキーワードで考えると、地域に課題はなかったでしょうか。実際の地域の状況を記憶が新しいうちに情報交換を行い、今後の地域作りに活かしたいと考えています。

今回はこれまでの話し合いを基に、高齢者の孤立防止策について具体的にグループで話し合い、高齢者の気軽に利用できる「茶飲み処」づくり、身近な相談窓口としての高齢者総合相談センターの周知が必要だということになりました。前回の会議からの活動について、進捗状況をご報告いたします。

日時：令和2年1月28日(火)
 時間：午後2時から4時
 場所：青戸地区センター 4階 ホール

内容：①前回の会議内容の報告
 ②グループ討議
 ③まとめ

出席のご連絡は1月23日(木)までに電話またはFAXをお願いいたします。

参加団体名	出席者名

参加申込・問い合わせは 高齢者総合相談センター青戸へ
 電話 03-5629-5719 FAX 03-5629-5718

地域ケア会議のお知らせ(葛飾区)



いたばしコミュニティ防災
舟渡地区ワークショップ(板橋区)

○住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

- ・ マイ・タイムラインの企画展や作成講座を実施(荒川下流河川事務所、北区)
- ・ 東京マイ・タイムラインを講話、イベント等で周知、配布(文京区、荒川区、足立区)
- ・ 令和元年度から実施した地区防災計画策定支援の中で、マイタイムライン・コミュニティタイムラインと防災マップ作成の支援を行った(千代田区)



マイタイムライン作成講座(北区)



水防災の体験ワークショップ(荒川下流河川事務所)

○地域防災力の向上のための人材育成

- ・ 防災士資格取得の助成制度により、防災士の資格取得を促進（千代田区、文京区、足立区）
- ・ 墨田区防災士ネットワーク協議会の会員（防災士）に定期的に研修を実施（墨田区）
- ・ マイ・タイムラインの普及を促進するためのリーダー育成事業を実施（北区、足立区）
- ・ 研修や出前講座等の場で水害リスクに関する意識啓発を実施（荒川区）
- ・ 町会・自治会等を対象に、水害講演を実施（江戸川区）



マイ・タイムライン普及リーダー育成講習会（北区）

○垂直避難のリスク周知や広域避難の必要性の啓発に向けた取組の実施

- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を支援するDVD及び手引きを作成(荒川下流河川事務所)
- 住民参加型の水害ワークショップを開催(東京都、葛飾区)
- 「住民防災組織育成研修会」において、気象庁による大規模水害対策講演会を実施(墨田区)
- 総合防災訓練にて、VR・ARを活用して水害についての啓発活動を実施(墨田区)
- ハザードマップと一緒に配布する冊子に垂直避難に関する情報を記載(江東区)
- 高台避難等の重要性について区報、ホームページ、防災アプリ等で周知(荒川区)
- 水害やハザードマップの説明会を実施(足立区、江戸川区)

・・・ 日ごろから確認しましょう ・・・

ポイント 1 避難方法・避難場所を確認

荒川の氾濫による浸水が始まる前に、高台(谷中墓地、上野公園一帯、文京区方面、北区田端・中里方面)に避難しましょう。上記以外の浸水しない地域や、他道府県にいる親戚や知人の家等にあらかじめ避難することも有効です。

※浸水が始まり、避難する時間がない場合等は、命を守るために近隣の安全で高い建物や自宅の上層階に避難しましょう

▶ 荒川区防災地図(水害版)

防災センター2階防災課、各区民事務所で配布しています。荒川区ホームページでも掲載しています。

▶ 荒川区防災アプリ

スマートフォン等で利用できます。下記の方法でダウンロードしてください。



ダウンロードの方法

- App Store、Google Play から「荒川区防災アプリ」で検索
- 二次元バーコード(右)を読み込む

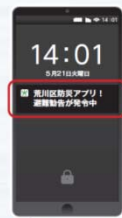
※ダウンロードは無料です(通信料は本人負担)



▲iOS用 ▲Android用



▲アプリ画面イメージ



▲プッシュ通知イメージ



水害ワークショップの開催
(東京都、葛飾区)



水害VRを活用した総合防災訓練の実施
(墨田区)

高台避難の重要性について区報で周知
(令和元年5月21日)(荒川区)

○垂直避難者の被害の低減に向けた対策を実施

- 水害時の避難者受入れについて民間のマンションと災害協定を締結。協定締結者に対して、資器材等を交付、購入の補助を実施（墨田区、荒川区）
- 消防団のボート活用訓練を実施（荒川区、葛飾区）

墨田区集合住宅防災対策用資器材交付制度

これまでに協定を締結した集合住宅

協定を締結した集合住宅

2019年度新規締結

No	マンション名	所在地
1	錦糸町ハイタウン	江東橋四丁目21番6号
2	吾妻橋サニーコーポ	吾妻橋二丁目20番7号
3	コスモ押上サザンフォルム	横川二丁目13番14号
4	ラヴィアンコート墨田業平	業平五丁目1番12号
5	コスモ押上ガーデンシティ	業平五丁目1番18号
6	ライオンズマンション隅田公園	向島二丁目12番4号
7	向島ハイツ	向島四丁目24番21号
8	コスモ向島	向島五丁目26番7号
9	ザ・コンド曳舟	東向島二丁目19番6号
10	ネオコーポ墨田	墨田二丁目20番11号
11	コスモ押上アーバンフォルム	押上三丁目4番8号
12	イーストコア曳舟二番館	京島一丁目1番2号
13	コスモグランプレイス	文花三丁目17番16号
14	レクシオ亀戸	八広二丁目54番5号
15	コスモシティ亀戸	八広二丁目54番15号

集合住宅防災対策用資器材交付制度により
協定を締結した集合住宅（墨田区）



認定を受けた建物への助成

- 地域住民及び災害時における避難者の防災対策のために必要な防災資機材の購入経費の2分の1を補助（上限50万円）

【助成対象資機材】

エンジンカッター、チェーンソー、ジャッキ、担架、AED、発動発電機、投光器、毛布、寝袋、バーナー、大型鍋、トランシーバー、簡易トイレ、保存食、保存水など

災害時地域貢献建物の認定・助成制度（荒川区）

○河川防災ステーションの整備

- ・河川防災ステーションの整備を実施(荒川下流河川事務所)
- ・資材搬出の訓練を実施(荒川下流河川事務所)

資材搬出訓練



○水防関係者間での連携、協力に関する検討（消防機関等との連絡体制の再確認と伝達訓練の実施・連携、協力に関する検討）

- 水防連絡会を開催（荒川下流河川事務所）
- 洪水予報等伝達訓練、洪水対応訓練を実施（全機関）
- 洪水予報伝達訓練にあわせて、地下街等管理者や要配慮者利用施設管理者と情報伝達訓練を実施（千代田区、中央区、台東区、墨田区、江東区）



情報伝達訓練の実施（荒川下流河川事務所）

○重要水防箇所の見直し、水防資機材の確認

- 重要水防箇所等の共同点検を実施(荒川下流河川事務所、気象庁、東京都、墨田区、江東区、北区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区)



○毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施（水防訓練の充実）

- 区内消防署と合同で水防訓練を実施（荒川下流河川事務所、気象庁、各区）



○迅速な水防活動を支援するため新技術を活用した水防資機材等の配備

- 水のうを備蓄(荒川下流河川事務所)
- 土のうステーション25箇所を配備済み、土のうによる水防対策パンフレットをHPで公開(葛飾区)



水のう設置訓練の実施(荒川下流河川事務所)

土のうによる水防対策

葛飾区
土のうステーション

くさ堤等の大規模にこの由にご利用ください。
く使用した土のうは、勾配や道路には戻せず、各自で保管してください。

連絡先
葛飾区都市整備部調整課
03-5654-8214

葛飾区都市整備部

○災害情報の地方公共団体との共有体制強化

- ・ 情報共有システム等の運用訓練を実施（荒川下流河川事務所）



情報共有システム等の運用訓練の実施（荒川下流河川事務所）

○排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施

- 国土交通省や自治体の職員、協定会社を対象とした機器操作訓練を実施(荒川下流河川事務所)
- 荒川ダム総合管理所にて排水ポンプ車設営訓練を実施(水資源機構)
- 排水ポンプ車や排水施設の増強、稼働時間の延長などを各管理者に要請(江戸川区)



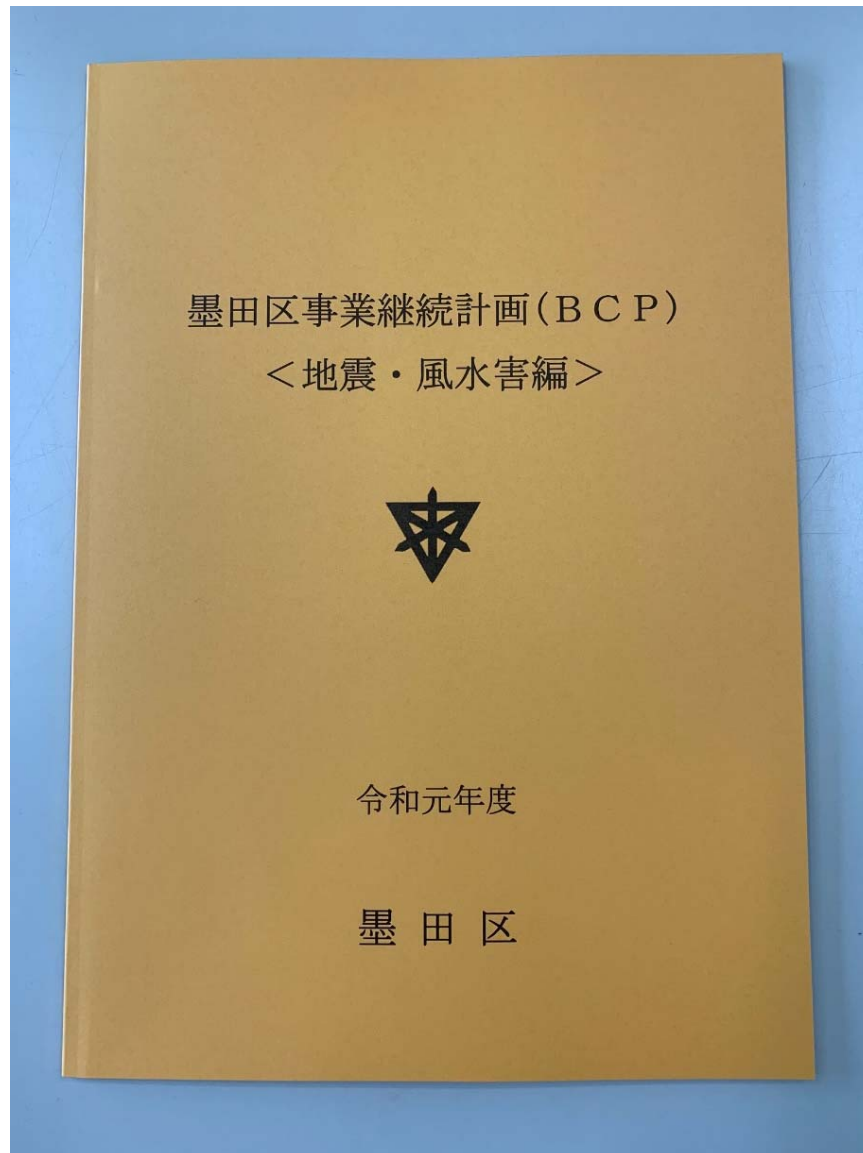
機器操作訓練の実施(荒川下流河川事務所)



ポンプ車を用いた排水訓練の実施(水資源機構)

○早期復興を支援する事前の準備

- ・「墨田区事業継続計画(BCP)を改定し、風水害編を作成(墨田区)」



事業継続計画(BCP)<地震・風水害編>(墨田区)